

〔有用遺伝資源の評価・利用〕
7月下旬まき施設コマツナの有望品種の選定

小坂井宏輔・栄森弘己
(江戸川分場)

【要約】本作型では、葉色が濃く、カップリングが少ない「乃木坂，ひと夏の恋」，株張りが良く，葉色が濃くカップリングが少ない「夏蒼天」，揃いが良好で，葉色が濃くカップリングが少ない「里まつり」が有望である。

【目的】

コマツナは都内における生産量が野菜の中でも多く，基幹作物である。また，コマツナの品種は多岐にわたり，生産現場では品種特性の把握が困難である。そこで本試験では7月下旬まき施設コマツナの品種特性を明らかにし，有望品種を選定する。

【方法】

品種は13品種（表2）を供試し，7月28日に近紫外線除去フィルムを展張したビニルハウスに条間14cm，株間5cmで播種した。播種5日前から播種後3日目まで，70%遮光ネットをハウス外部に展張した。施肥は全量基肥で，N-P₂O₅-K₂Oを7-7-7kg/10aで施用した。生育調査は8月28日（播種31日後）に行った。

【成果の概要】

1. 生育期間中の気象条件をみると，生育前期および後期は気温が平年より高く，特に後期は平年より1.7~2.5℃以上と非常に高く，日照時間も平年の150%以上と長かった（表1）。生育中期は気温が平年と同程度であったが，日照時間が平年より短かった。
2. 収穫時生育調査の結果を表2に示した。各品種の最大葉長は21.5~36.4cmであった。「里まつり，乃木坂，ひと夏の恋，夏蒼天，里きりり，美翠，いなむら，夏の甲子園」の8品種で最大葉長が25~30cm程度であったことから，多くの供試品種で夏期でも徒長しづらく，かつ生育が停滞しないと考えられた。
3. 収量性について，「里まつり，夏蒼天」は地上部重/最大葉長の値が1.5以上と高く，株張りが良好であった。また，「里まつり」は最大葉長・地上部重の変動係数が小さく揃いが良かった。
4. 商品性について，「必閃，極楽天，こいしい菜」を除く10品種でSPAD値が55以上と高かった。また，「里まつり，乃木坂，必閃，ひと夏の恋，夏蒼天」はカップリング程度が3（中）以下と少なかった。
5. 以上の結果から，本作型では，葉色が濃く，カップリングが少ない「乃木坂，ひと夏の恋」，株張りが良く，葉色が濃くカップリングが少ない「夏蒼天」，揃いが良好で，葉色が濃くカップリングが少ない「里まつり」が有望である。

【残された課題・成果の活用・留意点】

気候，栽培条件により芯枯れ症状が発生する可能性があることに留意する。

表1 栽培期間中の気温，日照時間，降水量の推移

月	半月	平均気温(℃)						日照時間		降水量	
		日平均		日最高		日最低		本年	平年比	本年	平年比
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	(hr)	(%)	(mm)	(%)
7	6	28.6	+1.1	32.5	+1.4	26.1	+1.1	71	162	0	0
	1	28.6	+0.4	32.1	+0.2	26.1	+0.5	39	87	13	114
	2	29.1	+0.7	32.8	+0.8	26.7	+0.8	30	78	25	135
8	3	27.6	-0.2	30.6	-0.7	25.5	0.0	22	69	14	59
	4	29.1	+1.7	32.8	+1.9	26.9	+2.2	51	170	0	0
	5	30.2	+2.5	34.7	+3.6	27.5	+2.4	51	158	0	0

気象庁（江戸川臨海地点）のデータを使用。平年値は2015年～2024年の10年間の平均値を使用

表2 7月下旬まきハウスコマツナの品種特性

No.	品種名	種苗会社 ^a	最大葉長		地上部重		地上部重 / 最大葉長	葉数 ^b	葉色 (SPAD)	胚軸長 (mm)	節間長 (mm)	カップング程度 ^c	側根量 ^d	草姿 ^e
			(cm)	c. v.	(g)	c. v.								
1	里まつり	ム	30.1	0.04	45.3	0.06	1.51	7.9	55.4	2.8	12.5	3.0	2.4	中
2	乃木坂	ニ	29.4	0.05	38.9	0.14	1.32	7.7	56.0	2.3	12.1	2.6	2.7	中
3	必閃	カ	30.5	0.06	42.1	0.15	1.38	7.2	51.6	9.0	24.6	3.0	3.0	立
4	極楽天	タ	36.4	0.10	44.6	0.18	1.22	5.9	44.1	10.6	23.5	4.1	2.1	中
5	ひと夏の恋	ニ	28.8	0.06	39.5	0.15	1.37	7.1	57.0	3.2	10.0	3.0	2.6	中
6	こいしい菜	カ	33.3	0.05	41.3	0.12	1.24	8.2	53.0	6.5	12.8	3.2	2.4	中
7	里のなつ	ム	31.6	0.07	37.4	0.14	1.18	6.8	60.7	5.3	14.9	3.3	2.4	立
8	夏蒼天	タ	25.1	0.05	40.9	0.14	1.63	7.0	59.0	3.0	16.6	2.7	2.1	中
9	里きらり	ム	26.4	0.03	38.6	0.12	1.46	7.7	61.5	10.1	17.1	4.0	2.5	中
10	美翠	ワ	29.9	0.08	40.4	0.16	1.35	8.8	56.9	8.1	16.6	4.5	1.7	やや開
11	菜々美	タ	21.5	0.09	21.8	0.18	1.01	6.9	55.2	11.4	8.2	4.4	3.1	立
12	いなむら	サ	28.6	0.06	35.8	0.11	1.25	7.4	60.2	11.1	13.6	4.2	2.4	中
13	夏の甲子園	ト	27.8	0.06	40.3	0.10	1.45	6.9	60.0	7.9	10.2	3.3	1.8	中

7月28日播種，8月26日調査。調査は1区10株，2反復で実施した。

a) ム(武蔵野種苗園)，ニ(日本農林社)，カ(カネコ種苗)，タ(タキイ種苗)，カ(カネコ種苗)，ト(トキタ種苗)，ワ(渡辺農事)，サ(サカタのタネ)

b) 最大葉長の半分以上の長さがある葉の枚数

c) カップング：[Σ(指数×指数別株数) / 調査株数] 指数：1(弱)，2(やや弱)，3(中)，4(やや強)，5(強)

d) 側根量：[Σ(指数×指数別株数) / 調査株数] 指数：1(少)，2(やや少)，3(中)，4(やや多)，5(多)

e) 草姿：極立，立，中，やや開，開